人・もの・ことの“つながり”を大事に

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください

令和７年８月18日発行
第９号
中信教育事務所

過去の「共に歩まん」はこちら→

←過去の「マナビィ通信」はこちら

市町村訪問①～各分野での取組を紹介します～

５月中旬から「社会教育分野・社会人権教育分野・生涯スポーツ振興分野」について、中信管内19市町村の担当者との懇談が始まりました。（※この懇談のことを「市町村訪問」と言います。）担当者の皆様には、お忙しい中、時間や会場の確保等をしていただきありがとうございました。

各分野について、市町村で状況は違いますが、悩まれていることは、重なる部分があると感じています。そこで、本号と次号では、各市町村の取組を紹介します。担当者の方には、事業のヒントに、先生方には「地域との連携のヒント」にして頂ければ幸いです。

“大人も子どもも学び続けられる社会” を一緒に創っていきましょう。

生涯学習のマスコット「マナビィ」

仮面ライダーの作者でもある漫画家の石ノ森章太郎さんのデザインで、生涯学習の「学び」と蜜蜂の「bee」を合わせて“マナビィ”と名付けられました。全国各地で活躍中です！

【社会教育分野】

ウキウキ ワクワク！ 魅力がいっぱい！ 地域の皆で楽しみ、盛り上げよう！

各市町村には、楽しくて魅力的な講座や公民館活動がたくさんあります！
どの市町村も地域住民の皆さんに参加してもらい、楽しんでもらえるように、内容を工夫しています。ぜひ、足を運んでみてください!!

子どもと大人の学びの充実に向けて【麻績村】

夢の教室（小学5年生対象）や麻績学級（高齢者対象）という事業があり、子どもたちの成長や学び、高齢者の健康促進など、その世代に合わせた講座を実施しています。村全体をさらに盛り上げたいという担当者の願いがあります。

参加者のニーズに合わせた講座を【筑北村】

いきいき講座では、ニュースポーツや星座観察、健康、文化財など、参加者のニーズに合わせて講座内容を考え、学習講座を実施しています。講座への参加者が固定化しているので、参加者から感想を聞き取ったり開催する曜日を変えたりするなど、参加者を増やすために試行錯誤しています。新規参加者を増やしたいという担当者の願いがあります。

子どもや若者の運営参画【朝日村】

長寿を祝う会は、高齢者（75歳以上）の功績を称え、お祝いする会です。高齢者の皆様に楽しんでいただけるよう、カラオケやハーモニカの発表など、参加型のイベントにするなど、内容を工夫しています。

お夏まつりは、朝日村の夏祭りで、民話「お夏狐」をもとにしています。朝日小唄を村の皆で踊ります。令和6年度は、小学生や中学生、高校生、大学生が企画や運営に参加し、会場を大いに盛り上げました。子どもと地域のつながりを強くしたいという担当者の願いがあります。

次のページへ

【社会人権教育分野】

学校、家庭、地域でよりよい関係を目指して【大町市】

学校の体育館を会場として、人権講話の講師を招き、市民にも参加を呼びかけ学社一体となった人権教育を進めています。また、開催日を参観日と同日開催とし、PTA講演会としても位置付いています。地域と共に、そして親子でも共に学ぶことができ、相互理解を深めるための環境がつくられています。

豊かな心を育む市民の集い【塩尻市】

毎年12月に開催されている「豊かな心を育む市民の集い」。2部構成で、1部は人権擁護委員協議会の方々が主管し人権作文コンクールの表彰と朗読を行い、2部は人権教育に関する講演会を開催します。今年も同様の内容で計画中とのことです。昨年、中信教育事務所職員も参加させていただきましたが、人権教育を改めて考える良い機会となりました。

必要観をもちニーズにあった学習会の開催【山形村】

今年度、「R6年度人権教育推進委員会研修会」のアンケート結果を参考にして、「障がいのある方の人権」や「子どもの人権」をテーマに学習会を行っています。昨年度の地域の分館での学習会でもアンケートから「高齢者の方の人権」をテーマに学習会を行いました。参加者のニーズに応じた人権学習を進めていくことで、より地域の方々の主体的な姿につながっていくと感じています。

【生涯スポーツ振興分野】

子育て世代、働く世代の運動実施率向上へ向けて【小谷村】

フットサルサークルでは、親がフットサルを楽しめるように、参加した親同士で託児をし合っています。参加者は30名程。3チーム作って、試合の無いチームが託児役です。「子どもがいると参加が難しい」という参加者の困り感、「託児のための団体を依頼することは難しい」という運営側の悩みを解決した取組です。

共生社会の実現を目指して【松本市】

障がいの有無に関わらず、誰でも一緒にスポーツを楽しめる機会として「パラスポくらぶ」を毎月開催しています。参加者は、松本市だけではなく、近隣市町村の方もいます。スタッフには、スポーツ推進委員、理学療法士等、様々な立場の方がいらっしゃり、参加者が安心して活動できる場を創出しています。

多くの地域住民にイベントへ来てもらうために【生坂村】

イベントのチラシを2種類作成しました。大人用と子供用です。担当者の方は、「相手によって、伝えたいことや知ってほしいことが違うので」と話してくれました。他にも、「SNSでチラシを見ても親で止まってしまう。学校で子どもにチラシを配布してもらえることが、とてもありがたい」と教えてくれました。

それぞれの市町村では、地域の子どもも大人も学び続けることができるように、地域の実情をもとに、様々な取組が行われているんだね。
皆さんの地域、働いている学校の地域では、どんな取組が行われているのかな？